

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	経営方針に働く仲間を大切にすることを明記、入社時の研修にて周知している。グループリーダーまたは社長に相談する体制も整っており、差別がないことを確認している。						5.1					8.5		10.2							16.1		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則に明記しており、入社時に読み合わせを実施している。就業規則は常に閲覧できる体制になっている。						5.1					8.5									16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	長時間労働に関して就業規則に記載があり、通常は残業を行わない体制が整っている。												8.5										
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	英語の採用マニュアルを取り入れ、休暇等も母国の風習に配慮して取得できる体制になっている。					4.4						8.7		10.2									
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	就業規則では、安全衛生に関する項目を設け、入社時や配置転換時など必要時に読み合わせを行っている。					3							8										
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	日ごろから相談しやすい雰囲気を作成している。					3																	
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	制度において、子の看護休暇の創設や、ハード面では手すりの設置など、働きやすい環境の整備に取り組んでいる。							5.1				8.5		10.2									
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	必要な資格については資格取得の補助制度を構築している。					4	5.5					8	9										
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	就業規則に明記し、規則に沿った運用を実施している。							5.5				8.5		10.2									
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	定期健康診断の結果に対し、声かけを実施し常に健康に気を配っている。							3					8										
	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	【予定】廃棄物の記録による管理を開始する。													11.6	12.4		14.1					
			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	消費の大部分を占める電気について、使用量の把握を行っている。今後温室効果ガス排出量把握については、今後検討を開始する。										7.3					13						
			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】今後は排出量を把握に取り組む。											7.2				12.4	13.3					
			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有機溶剤等有害化学物質を微量ではある者の使用するので、使用量を把握し、使用量を抑制する検討を行う。					3.9			6.3					11.6	12.4							

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・事業活動が環境に与える悪影響を把握しており、定期的に状況を確認している。						6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・事業上、リサイクルできるものはリサイクルしている。設備導入の際には耐久性の高い設備を採用している。									12.5	14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ						6.4	6.6											
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ											12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ											12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	方針を定め、掲示し、各部署長を通じて社員に周知する。														16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	方針を定め、掲示し、各部署長を通じて社員に周知する。															16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	方針を定め、掲示し、各部署長を通じて社員に周知する。							8.2	9									
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報の保護に関しては、守秘義務の範囲を明確にし、入社時の研修において周知している。 ・取扱者を限定して管理している。															16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】パートナーシップ構築宣言の作成に着手した。			3					8	9	10						17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (※取組の取得経路があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・品質方針を策定し、入社時の研修の他ポータルに掲載して常に確認できる環境を整備している。				3.9									12.4									
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・品質方針を策定し周知するとともに、クレーム発生時には内容の見直しを行っている。													9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6								12	13	14	15					
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・自社の事業が社会課題の解決にどのように関連しているかを考え業務にあたっている。				4						9		11	12			14	15			17		
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・学生の就業体験の受け入れを継続的に実施している。				4										11			14	15			17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・できるだけ地域の人材を採用している。									8	9		11	12	13								
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・経営理念・経営目標は明文化している。 ・社員に定期的に社内報としてメール発信し周知している。										8	9										17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・経営方針の一部に明記し、定期的に社内報に記載しメール発信にて周知している。																					16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・社長が中心となり、各部門に働きかけている。																					16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・町や商工会の会議や事業に参加し情報収集に努めている。																					16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																						16	
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・自社の事業と社会の関わりについて考えるよう、常に社員に働きかけている。																					16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ												9		11			13	13.1				16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】今後検討を開始する。										8	9											17

上記以外で設定した取組項目																										
独自に設定したSDGsに資する取組			具体的な取組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定